

平成 31 年度外来種対策事業  
(ヒアリ等対策)

報 告 書

令和 2 年 3 月

沖縄県環境部自然保護課



## 目 次

第1章 事業概要	1
1. 事業目的	1
2. 事業期間	1
3. 実施地域	1
4. 実施体制	1
5. 事業内容	2
第2章 ヒアリ等の監視技術・体制の確立	3
1. 有効なモニタリング手法の検討	3
1-1. 台湾に設置した SLAM トラップで採集されたアリ類	3
1-2. ヒアリ長期モニタリング手法開発に向けたアリ塚調査	8
2. 同定技術の検討 (GC-MS によるヒアリ検出法)	11
2-1. GC-MS によるヒアリの毒性物質の検出	11
2-2. 誘引剤トラップ調査におけるヒアリ検出を目的とした GC-MS の利用	14
2-3. 毒性物質の物性 (太陽光による変性) の把握	31
2-4. SLAM トラップ調査におけるヒアリ検出を目的とした GC-MS の利用	33
2-5. その他サンプルにおける GC-MS の利用	44
3. 主要港湾におけるヒアリの侵入状況調査	45
3-1. 目的	45
3-2. 各種調査方法と結果	46
4. 継続可能なモニタリング手法の検討 (3年半の結果と成果・課題)	58
4-1. はじめに	58
4-2. 沖縄県内で実施される外来アリの各種モニタリング手法とその特性	58
4-3. 各種モニタリング手法の作業コスト	66
第3章 ヒアリ等の防除技術・体制の確立	67
1. 防除技術の検討	67
1-1. ニュージーランドにおけるヒアリ対策の視察報告	67
2. ヒアリ等同定研修のプログラム化	86
2-1. ヒアリ同定研修会のプログラム化	86
2-2. ヒアリ同定研修会の実施	89
第4章 総合マニュアルの策定	95